



- P2 令和4年度決算審査
- P3 9月議会概要、賛否一覧
- P4~12 一般質問で町政を問う
- P13 常任委員会報告
- P14~15 出前講座、視察来町、最近の議会活動
- P16~17 特集「治水対策の今!!!」
- P18 要望書、編集後記

議会だより

■ 標題は六角小学校5年 峰松杏夏さんの作品です

令和5年

9

月議会

第74号



あいうらはるね

監査委員の意見

令和4年度決算審査

代表監査委員

稲富健朗

議会選出監査委員

溝口 誠

令和4年度の決算審査は、7月19日から8月3日まで実施し、決算書・関係諸帳簿・証拠書類を審査。その結果、決算計数は正確に処理されていることを確認した。ついで、9月1日に町長へ監査意見書を提出した。

講評

① 不納欠損処分と滞納処分

令和4年度の町税の不納欠損額は45件、前年比10万88円減少。また、国民健康保険税の不納欠損金については、昨年より37万6,812円増加。今後も地方税法に基づき、適正に執行していただきたい。

② 事務処理状況

全体において重大な誤りは見られなかったが、次の点については改善することを検討していただきたい。

● 新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を財源とした事業は、過大な予算の見積もりにより多額の不利益があった費用も多く見受けられた。

● 電気料金、物価高騰の影響により、各施設の維持管理費が上昇。機械設備の計画的な更新、維持管理費に見合う施設使用料の見直しが必要。

● 単年度契約が多く見受けられるため、数年間の長期継続契約制度を活用し、低コストと高効果につながる維持管理委託の在り方。

● 職員の超過勤務の常態化がある部署の組織体制の検討と業務改善。

最後に、地方交付税が減少していく中において、ふるさと納税制度や施設使用料の見直しを含めた財源の確保と一層の行財政改革に努める必要がある。学校統合再編や新給食センター建築に係る財源など借入金増加に伴う公債費の増加が見込まれるとともに、公共施設の老朽化に伴う修繕費等の増加も見込まれ、厳しい財政運営となる。コスト削減と限られた資源を効率的に最適配分するよう実行し、公共施設再編方針も町民が納得するよう早期に示されたい。

なお、近年の物価高騰からの町民の生活不安の解消につながるような事業に優先的に取り組んでいただきたい。住民サービスのデジタル化に取り組

み、サービスの向上と職員の負担軽減にもつながりたい。

人口減少対策に鋭意取り組み、若者世代の定住化と少子化対策、将

来を見据えた事業には投資を惜しむことなく取り組んでいただきたい。持続可能なまちづくりを展開されるよう切望する。



● 町長へ決算審査意見書の提出

9月定例議会概要

9月定例議会は、9月11日から22日までの12日間で行いました。

町長から、令和4年度各会計決算や補正予算、条例改正、人権擁護委員に係る人事案件など追加議案を含めて14件の議案が提出され、各議案は本会議での審議を経て可決・認定されました。

一般質問は9人が行い、まちづくり、行財政運営、人口減少対策、消防団活動、学童保育、治水対策、山林の保全と振興などについて執行部の考えを質しました。

また、8月9日には臨時議会が開催され、補正予算、契約案件などの4件の議案を可決しました。

賛否一覽

賛成 …… ○ 反対 …… ● 欠席 …… 欠

	議案番号	議案	結果	吉岡正博	岸川信義	友田香将雄	重富邦夫	中村秀子	定松弘介	前田弘次郎	溝口誠	大串武次	吉岡英允	草場祥則	井崎好信	内野さよ子	西山清則	溝上良夫	
8月臨時会	76	財産の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	77	学校施設環境改善交付金事業新学校給食センター建築工事請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	78	学校施設環境改善交付金事業新学校給食センター機械設備工事請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	79	令和5年度一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9月定例会	80	令和4年度一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	81	令和4年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	82	令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	83	令和4年度下水道事業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	84	税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	85	子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	86	佐賀県市町総合事務組合理約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	87	人権擁護委員候補者の推薦(木室久美子氏)	異議ない 旨答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	88	人権擁護委員候補者の推薦(川崎孝美氏)	異議ない 旨答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	89	令和5年度一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	90	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	91	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	92	令和5年度下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	93	令和5年度基盤整備促進事業(さが園芸888推進型)果樹棚整備工事請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が裁決権を行使します。

令和5年9月議会定例会には、
90人の傍聴者にお越しいただきました。
皆さんの傍聴とご意見をお待ちしています!





にしやま きよりの
西山 清則 議員

問 外国人を町営住宅に居住させることができるのか

答 資格要件を満たした方は、入居することができる

議員 本町は農業を営む環境にも恵まれ、農業者には働きやすく住みやすい町であると思われる。若者が農業を営みながら本町にとどまり住み続けてもらうために、町はどのような支援をされているのか。

農業振興課長 町としては、しろいし農業塾やいちごトレーニングファーム研修制度を利用し、町外から本町で農業を始められた方に対して、住居費の助成や車両の貸与などの支援を

行っている。また、50歳未満で独立・自営就農される方には国庫事業である経営開始資金を交付し、新規就農者が早期に経営が安定されるよう支援している。
議員 農業を問わず各業種においても、外国人技能実習制度を利用して労働力確保に努められているが、その宿舍の確保に苦慮されている。町営住宅に居住させることは出来ないのか。
建設課長 市町村税を滞納していないなどの入居者の資格要件があり、外国人技能実習生含む外国人住民の方も入居者の資格要件を満たした方は、入居することができる。

問 竹チップは竹林の整備にもつながるのではないのか

答 放置竹林の解消に努めてまいりたい

議員 竹チップは、稲作の土壌改良や病気対策にも使用されており、品質向上にもつながっている。また、竹チップの肥料化を進めることにより、農薬や化学肥料、動物性有機肥料

を使用しない自然栽培で野菜なども栽培でき、ついでには竹林の整備にもつながるのではないのか。
農村整備課長 機械導入経費等の問題点を勘案し、中長期的な取り組み・方向性

問 オスプレイ運用開始前には本町においても説明会の開催を

答 防衛省に要請し、住民説明会を考えている

議員 佐賀空港への自衛隊輸送機オスプレイの配備計画に関して、防衛省は駐屯地の工事に着手した。よって運用開始前には

本町においても説明会を開催され、町民の不安を解消するよう町も関わる必要はないのか。

として、竹を伐採して広葉樹を植栽するなど、天然林化を進めることで、放置竹林の解消に努めてまいりたい。



●放置された竹林

町長 具体的な訓練計画等を情報収集し、住民生活に影響を及ぼすことが、危惧されるのであれば、防衛省に要請し、住民説明会を行うことが必要と考えている。



なかむら ひでこ
中村 秀子 議員

問 放課後児童クラブの改善の方針は

答 学校や関係機関と連携し、質の向上や機能の充実に努める

議員 放課後児童クラブは多くの子ども達が、放課後や長期休業中に過ごす居場所であるが、支援員不足など課題が見受けられる。平成27年に出された指針をも

とに問題点に対応する施策と今後の方針は。①指針の認識と果たすべき役割②現在の状況③支援員の研修④環境整備や事故への対応⑤保育や学校との連携⑥支援員

の勤務時間⑦配慮が必要な子どもへの対応⑧タブレットPC端末の配備⑨支援員の不足を補う方策⑩新有明小学校における対応

最後に、このまま保健福祉課の所管でいいのか、現場は圧倒的に教育委員会がかかわってもらいたいとの声が多かったことを述べた。

保健福祉課長

①運

営指針に従って質の向上と機能の充実に努めている。また、保護者や学校と連携を図り健全育成に努めたい。②8クラブ合計で344名の児童がいる。職員は44名で60歳以上が半数以上を占める。③支援員の研修は様々に行われており、研修の受講をお願いしている。年度当初に新任指導員が決定すれば基本

的な事項について町で実施していきたい。④施設は点検修理等を行いながら運営をしている。一つのクラブで学校側との仕切りがあるのは、勤務時間外になると機械警備となるためである。⑤保育園やこども園との連携は必要で今後連絡会への参加は進めていきたい。学校とは情報交換をして協力体制を築く事は重要と考える。学校の支援員を兼ねている方の協力を得ている。⑥現在受け入れの10分前からの勤務としている。各クラブの実情に合わせて開所時間の前後に必要な時間を設けられるようにシフトを組んでいる。⑦障がい

のある子どもの受け入れにあたって、受け入れ態勢や環境整備が可能であるか見極め、判断している。現在のところ障がい理由に断った例はない。対応についての支援員の研修もある。⑧タブレットPC端末の配備は来年度予算に要求する。⑨支援員の不足の解消に向けて新人支援員の育成や資格取得の援助、賃金の処遇改善に努めている。⑩新有明小学校では学校敷地内の施設を改修もしくは新設する方向で検討を進めている。

企画財政課長

有明公民館や老人福祉センターの利用は考えていない。

項目		人数	構成率 (%)
性別	男性	4	9.1
	女性	40	90.9
年齢別	18歳～30歳	2	4.6
	31歳～40歳	1	2.3
	41歳～50歳	5	11.4
	51歳～60歳	11	25.0
	61歳～70歳	22	50.0
	70歳以上	3	6.8



うちの
内野 さよ子 議員

問 排水機場施設は土木系、農林系があり、始動水位に差があると聞く

答 始動水位改修に向け、関係機関と協議し、国へ要望していく

議員 令和元年、3

年の出水後、流域治水対策については県、国、関係市町村で取り組まれているが行動計画の主な骨子は、

総務課長 ①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策②被

守るー水位計、カメラの設置、住宅高上げ補助制度②内水を貯めるー水路、ため池の事前排水の徹底、幹線水路の浚渫③内水を流すー排水調整の管理体制・連携強化、ポンプ設置等。

議員 基幹的な水路には電波水位計の設置、電動化について。

農村整備課長 水位計は、令和5年度までに県土木部で6カ所、農林部で15カ所設置。電動化については町内には大小900カ所のゲートがあり、13%（116カ所）完了している。今後も柔軟に対応していく。

議員 ため池の事前排水については、排水機

農村整備課長 代掻き、田植後は貯水率70%を基本に管理されている。

議員 町内の排水機場には土木系8施設、農林系13施設がある。始動水位に差があると聞くが、

建設課長 土木系は国土交通省で道路や宅地の冠水を防ぐ。農林系は農林水産省で農地の冠水を防ぐ役割で差が生じる。町内には八平地区に両施設があり、75センチと新宅地区に両施設があり15センチ差がある。実務者会議で「排水機場の稼働水位の変更」を要請している。

町長 関係機関とも協議し、国へ要望していく。

議員 排水機場のオーバーホール（分解し、精度を上げる等）などについて。

議員 町内には多くの文化財がある。保護・管理には力を入れていただきたい。

生涯学習課長 国指定1件、県指定11件、町指定15件、計27件である。現在須古城の国史跡指定を目指している。道祖谷古墳は同時期の県内最大級の前方後円墳で、看板を整備した。周知に努めていきたい。

議員 資料館等の設置に向け準備すべきである。

生涯学習課長 学校統合再編、公共施設管理計画等の中で検討し、前向きに考えていきたい。

議員 2カ

年を掛けてすべての排水機場の点検をしている。オーバーホールについては国庫補助事業などを活用し、計画的にしていきたい。

議員 文化財保護・管理の充実と資料館設置に向けて準備すべきである

答 前向きに考えていきたい



よし おか ひでみつ
吉岡 英允 議員

問 再度、国道207号線、白石郵便局付近の安全対策について

答 横断歩道の新規設置、夜間照明施設の設置については現状では非常に難しい

議員 白石郵便局付近の夜間照明施設や高齢者も安心して渡ることのできる横断歩道の整備について再度問う。

総務課長 白石警察署と協議を重ねたが、当該箇所への横断歩

道の新規設置については難しいと判断している。

建設課長 道路管理者である杵藤土木事務所から、一般国道に設置する道路照明施設の設置基準に照らしても現状では非

常に難しいとの回答である。

議員 道路交通法改正により自転車に乗る人のヘルメットが努力義務となった。その周知と着用率向上のための購入補助などの検討は。

総務課長 周知については広報車による広報やケーブルテレビでの広報、小中学校での交通安全教室や老人クラブ等での出前講座を実施している。なお、購入補助に関しては他市町の状況を見ながら購入助成について検討したい。



●中学校ヘルメット

問 首長が自ら積極的に動き、外部の力や、ウェブメディアを最大限に活用していく時代では

答 マスメディアやウェブメディアの力には痛感している。今後も、積極的に動いていく

議員 本町も、若者世代の移住定住を推進するのなら、この世代をターゲットにした戦略が必要ではないのか。

町長 情報発信については、フェイスブックやラインを含んだ町の情報発信ツールはもちろんのこと、地域や年齢層を限定してのインスタグラムやグーグルへの広告など直接的に、あるいは、自然に目に入るような情報発信を行っている。なお、来年3月には九州北部にお住まいの方々をターゲットとして

テレビ・ラジオを中心に白石町のプロモーションを展開し、町の魅力や様々な情報を発信していく。

議員 町長は若手職員のアイデアを聞いているのか。

町長 職員からのアイデアや意見があれば、積極的に耳を傾け、意見を聞くようにしている。もっと活発に意見を出しやすくするよう、制度の改正などを含め、担当課には検討するように指示している。

の力を最大限に活用していく時代ではないのか。

町長 テレビや新聞を始めとするマスメディアやウェブメディアの力には痛感している。首都圏において、玉葱や蓮根のトップセールを行う際は、可能な限り事前に新聞社を訪問し、記事にってもらっており、その効果は大きいと感じている。今後も、常にアンテナをはりウェブメディアも活用しながら情報発信し、積極的に動いていく。



しげども くにお
重富 邦夫 議員

問 学校給食費の無償化を

答 あらゆる角度から考えていく

議員 近年の人口動態と若年層人口は、

住民課長 人口は、

5年前と比較し1,872人の減少。15〜34歳の若年層人口は、716人の減少である。

議員 若者世代や子育て世代への定住施策の近年の実績は、

総合戦略課長 住宅

取得などの「住まいのしろいし応援事業」により、昨年度は8世帯37名が移住・定

住された。また、「空き家・空地バンク事業」によりこの3年間で19世帯61名が移住・定住された。

議員 人口減少対策として、子育て支援策や結婚支援策は十分な効果を上げているのか。

保健福祉課長 大きな差異のない市町の子育て支援策の中では、町独自の大胆な政策を掲げない限り難しい。

総合戦略課長 結婚

新生活のスタートアップに係る費用助成をおこなっている。この2年で17件の実績があるが、人口減少対策としてはまだ少ないと受け止めている。子育て世代のニーズも探りたい。



●大型機械化が進む北見の圃場

議員 学校給食費の無償化の考えは、

町長 小学校6年生

と中学校3年生を無償化している。大幅な歳入の増加が見込めない中において、学校再編を含んだ公共施設の統廃合など大型事業を抱えていることを、町民の皆様にも情報として共有していただく必要がある。引き続きあらゆる角度から考えていく。

問 スマート農業への支援を

答 中継アンテナの設置方法を検討したい

議員 町長の農業振

町長 本町は、広大な平坦地である優位性と先人たちが取り

組まれた基盤整備の成果により、複合経営に適した優良農地が多い。将来にわたって食料生産基地であり続ける必要がある。農地の集積だけでなく、圃場を大区画化し、AいやICTの先端技術を活用できるような大型機械の導入も積極的に取り組みたい。

議員 GPS機能の自動操舵システムなど大型機械を活用したスマート農業への支援は、

農業振興課長 今後は自動操舵システムを搭載した農業機械の導入が進んでいくと思われる。若手農業者との意見交換もおこない、電波を受信する中継アンテナ設置の要望もあつた。メーカーへの調査をおこなっているところであり、補助事業なども研究し最大の効果が発揮できるように検討したい。



いざき よしのぶ
井崎 好信 議員

問 農地賃借料に対して町独自の助成ができないか

答 公平性に影響があり考えていない

議員 高齢化等により離農が進むことが考えられる。担い手農業者である法人、認定農業者に対しての支援の考えは。

農業振興課長 法人組織や担い手農業者の意見を聞きながら検討していく。

議員 生産コストの中でも小作料が大きくなウエイトを占めている。小作料に対して町独自の助成ができないか。

農業委員会局長 公平性に影響があり、補助の上乗せは考えていない。

議員 米価については生産資材高騰分を価格に転嫁する動きもあるようで、農家経営の安定のために

も要望活動をすべき

では。

町長 全国町村会の要職にもあり、法制化に向けて関係機関と協議しながら積極的に要望していく。

問 水産業を継承していくための仕組みを考えるべきでは

答 就業の増加を図るためにはどのような支援が有効か検討していく

議員 近年海苔養殖業の廃業が進んでいるようであるが、どのように捉えているのか。

農村整備課長 海苔養殖業の存続が危惧されており、今年度も事業継続のための支援策を実施し、9月議会でも資材価格高騰対策事業補助金を予算計上している。

議員 持続可能な水産業であるために事業を継承していくための仕組みを考えるべきでは。

農村整備課長 漁業就業者を支援する仕組みがあり、この制度を活用して新たに海苔養殖の就業の増加を図るためにどのような支援が有効か検討していきたい。

問 改正によって寄附額、返礼品の変更はあるのか

答 寄附額を増やすことで対応していく

議員 ふるさと納税制度は自主財源が乏しい本町にとつては有効な制度である。制度の主な変更内容は。

商工観光課長 5割ルールの中で対象外経費となっていたものが、対象経費として5割以内へ含めることとなった。

議員 改正によって本町の寄附額、返礼品の変更はあるのか。

商工観光課長 返礼品はそのまま、寄附額を増やす方向で検討している。

議員 今後も増えていくことを期待するが、方策は。

商工観光課長 右肩上がりが続いている。財政に寄与するばかりでなく、特産品のPRに努めていく。





まえだ こうじろう
前田 弘次郎 議員

問 観光協会設立について

答 スピード感をもって取り組む

議員 観光協会の設立に向けての進捗状況は。

商工観光課長 今年7月に「白石町観光協会設立検討委員会」を設置し、8月28日に

は第1回目の委員会を開催しました。

議員 副町長は、現在の進捗状況をどのように感じているのか。

副町長 今後さらに本町の観光推進を図つ

ていくため、マーケティング等に基づく戦略的かつ新しい観光施策の取り組みを担って

く組織として、白石町観光協会（仮称）の設立に向けて、現在取り組んでいる。

問 道の駅しろいしのリニューアルの計画は

答 年内には店内レイアウトの変更

議員 道の駅店舗拡張やリニューアル計画のその後の検討状況は。

商工観光課長 道の駅

駅定例会において、まずは店内のレイアウト変更を行うとされ、年内に計画をされている。

議員 更なる出荷者の掘り起こしなど、今後の売り上げ向上のための課題と方策は。

商工観光課長 新規

加入者の掘り起こしも大切だが、現会員の高齢化に伴う退会回避への対策も重要と考え、以前から集荷体制の検討を行っているが、様々な問題があり、いまだ手つかずの状態であると聞いている。



●道の駅しろいし

問 これからの行政経営の基本方針は

答 限られた資源を効率的に最適配分する

議員 桜の里付近の近年の状況は。

商工観光課長 周辺

に植林されている樹木が伸びてきており、深浦地区からは勿論、鹿島市からも見にくくなってきている状況と認識している。

議員 桜の里まで水

道を引いて、消火栓を設置できないか。

総務課長 すでに防

火水槽を設置しており、初期消火施設としての機能は備えていると認識していることから、現在のところ消火栓を設置する計画はない。



ともだ かずお
友田 香将雄 議員

問 小・中学生の荷物が重すぎる

答 負担が過多とならないよう、工夫を図り実施していく

議員 子ども達が着用しやすいよう、中学校のヘルメットを指定品ではなく、ある程度自由にしてはどうか。

主任指導主事 今後、生徒会やPTA、教職員等でルールの変更

更は可能ではないかと考える。ただし、まずは安全性の確保を最優先。
教育長 広く検討していいのではと考える。

議員 ランドセルや水筒など、小・中学生の登下校時の荷物が重すぎる。負担軽減を図るべきだ。熱中症対策で水筒が大きく且つ重くなっている。浄水器等設置して水分補給が出来るように取り組めな

いか。
主任指導主事 校長会でも負担過多にならないよう工夫をお願いしている。どの程度の荷物を子ども達が持っているのかを十分把握し、教員間や保護者と共有し負担軽減につなげていく。水分補給は水筒で対応しているが、水道水も飲用できる。水筒の中身はスポーツドリンクも可能としている。



●子どもたちの荷物が7kgを超える時も！
ランドセルを大人が背負うと…（右上写真）



●消防夏季訓練

議員 水田活用の直接支払交付金の交付要件が変更になったことによる課題は何か、また国への要望が必要ではないか。

農業振興課長 農地の流動化及び、今後の農地集約を阻害する原因となるのではと危惧する。機会があれば国等に、要望をしていければと考

えている。

議員 消防団の負担軽減策として夏季訓練を秋季訓練に移行出来ないか。

総務課長 近年の暑さは尋常ではない。団としての活動とあり方を考慮しつつ、消防団と協議しながら検討していきたい。



よし おか まさ ひろ
吉岡 正博 議員

問 続山が荒れている！ 保全と振興は

答 県で広葉樹林化、町は間伐と雑木除伐

議員 町長は「産業としての林業ではなく、環境林化を進める」とのこと、具体的に。

農林整備課長 県事業で荒廃林など伐採し広葉樹を植栽。町では間伐と雑木除伐を行い森林環境保全に努める。

議員 林道は98%舗装済とあるが、竹と路面崩れで走行できない。通行可能率を高める必要があるのでは。

農林整備課長 舗装率は町管理の林道。作業道は沿線の山林所有者で管理をお願いする。その補助金を準備している。

議員 町実施計画に作業道の維持管理をするところ。書き換えるのではなく計画通りに町管理を。イノシシの捕獲後処分支援、道からの侵入対策は。

農業振興課長 捕獲後処理の方法は、今年度中に猟友会と近隣市町に出向き協議会で検討する。イノシシの侵入箇所をカメラ設置し研究していく。

議員 歌垣公園の整備は撤去ばかりで、マ일랜드とのバランスを求める声があっているが。

商工観光課長 学校再編や公共施設改修の支出増が避けられず、緊急・優先性を考慮してきた。しろいし緑の芸術祭とのコラボなど検討していく。

問 衝撃！ 出生数が江北を下回る、分析と対策は

答 就学前に増加。解決の仕組みづくりをする

議員 令和4年度の白石町の出生数は95人、対して江北町は107人。人口が半分以下の江北町を下回った。町長は、これをどう捉え、人口対策を指すするのか。

町長 強い危機感をもって移住定住の促進、子育て支援を取り組む。

議員 国勢調査を見ると江北町の人口は白石町の4割なのに、30〜34歳有配偶者女性人口は7割と差が縮まる。結婚や出産で江北町は転入が多く、白石町は転出が多い。これをどう考えるか。

総合戦略課長 白石町は近隣市町へ転出が多いが、就学前に幼児数が増加する特徴がある。

議員 子育て世代が白石町に残るため、田舎の「わずらわしさ」「女性のストレス」

を減らす意識改革が急ぎ必要では。

総合戦略課長 地域の問題解決の仕組みづくり、地域づくり協議会の位置づけ等を明確にする条例を検討している。

	令和2年国勢調査		令和4年度 出生数
	全体人口	30~34歳 有配偶者女性人口	
江北町	9,566人 (比率 43)	191人 (74)	107人 (113)
白石町	22,051人 (比率 100)	258人 (100)	95人 (100)

	平成27年国勢調査	5年間で	令和2年国勢調査
	25~29歳 女性人口		30~34歳 女性人口
江北町	267人	+16人	283人
白石町	497人	+38人	459人

総務常任委員会

うきは市水門自動化を視察

8月3日、福岡県うきは市役所を訪れ、建設課から水門の自動化について説明を受けた。令和4年度から国の補助金を活用し、民間企業と実証試験を行っており、水門管理者の安全確保、水門閉鎖時の作業負担軽減等効果を上げられている。既存の水門に後付けできる自動開閉化機器「水門ボット」を取り付けている井上水門を現地視察し、実際の操作手順の説明を受けた。水門管理者の高齢化や、大雨豪雨災害時の操作員の被災リスクなど共通する課題も多く、本町も早急に検討すべきと認識した。



●うきは市の水門自動化について説明を受ける

文教厚生常任委員会

町内文化財の維持管理に関する調査

7月28日、白石町内各所の文化財を巡り、文化財の維持管理に関する調査を行った。町教育委員会職員から概要説明の後、道祖古墳では令和4年度の県の補助事業による看板修繕について、須古城跡では国史跡指定に向けた事業説明、弥福寺では木造阿弥陀如来立像（県重要文化財）について、龍神社では石造「豊玉姫之尊」祠（町重要文化財）について調査を行った。なお、有明民具倉庫では保管状況の調査を行った。町内には多くの文化財があり、今後も適切な保護・管理を求めていきたい。



●道祖谷（さやんたに）古墳にて現地調査

産業建設常任委員会

スマート農業現地調査

9月5日～6日、JAさが白石地区たまねぎ部の役員研修に同行し、北海道のJAきたみらい、JAふらのを訪れ、JA職員からロボットやAIを導入したスマート農業について説明を受け、最新式の選果場施設等の見学を行った。日本で初めてのAIを使った選別機の導入で、人の手に頼らない選別による効率化や一玉ごとの重量計測を行うことで規格等の選別、箱詰め時のロスを削減するなどの先進の技術を使った農業に触れ、日本一の産地の規模に圧倒されるとともに、今後の白石農業について検討すべき課題があることを改めて認識できた。



●北海道の圃場にて玉葱栽培について説明を受ける

議会出前講座

4年ぶりに議会出前講座を再開しました。7月18日に牛屋西分地区、7月25日に六府方区に出向きました。町議会の報告、運転免許証返納に伴うタクシー割引、予約制いこカーの利用方法、移住定住施策、空き家バンク、学校統合再編、道の駅しろいし現状報告、ふるさと納税、防災対策、スマイル商品券、詐欺の注意喚起など意見交換を行いました。

各地域の皆様も会合の際には、どうぞ議会出前講座を活用ください。

7月18日 牛屋西分老人クラブ(32人)



左から溝上良夫、定松弘介、中村秀子、大串武次、岸川信義

7月25日 六府方区老人クラブ(36人)



左から吉岡正博、吉岡英允、草場祥則、溝口誠、重富邦夫

視察来町（宮崎県東臼杵郡4町村議会議長会）

7月11日、宮崎県東臼杵郡4町村議会議長会（美郷町・門川町・諸塚村・椎葉村）から13名が訪問され、議会活性化に係る取り組みについて研修されました。白石町議会基本条例、議会出前講座、ペーパーレス会議などについて議員自ら説明を行いました。住民を意識した出前講座など、議会活動に取り組む姿勢に感銘を受けたとの感想もいただきました。



●議場にて4町村議長と



●議会広報特別委員会でタブレット操作の補助

最近の主な議会活動（7月～9月）

日	曜	
3	月	まちおこし運営委員会
4	火	有明南小学校学校訪問 県議長会正副会長による知事表敬訪問
6	木	杵藤地区広域市町村圏組合議会臨時会
7	金	有明東小学校学校訪問 白石町交通安全対策協議会
10	月	議員例会・説明会
11	火	宮崎県東臼杵郡議長会視察 国道207号改良促進期成同盟会総会
13	木	白石町戦没者追悼式
18	火	議会出前講座
19	水	県議長会行政視察（～7/21）
25	火	議会出前講座
26	水	決算審査
27	木	決算審査
28	金	佐賀西部広域環境組合議会臨時会
30	日	女性団体連絡会総会（女性フェスタ）

日	曜	
2	水	知事・市町議会議長懇話会
4	金	議会運営委員会
7	月	国スポ協賛品受領式 七夕こしひかり出荷式
9	水	8月臨時議会
10	木	し尿汲み取り業者要望書提出対応
18	金	杵藤地区広域市町村圏組合議会勉強会

日	曜	
19	土	消防夏季訓練
22	火	杵島地区衛生処理組合議会定例会
25	金	福富地域浮立大会 杵藤地区広域市町村圏組合議会定例会
29	火	広域農事組合法人要望書提出対応 国民健康保険事業の運営に関する協議会
30	水	議会運営委員会
31	木	佐賀県町村議会議長会議 佐賀県町村議会議員研修会

日	曜	
5	火	産業・建設常任委員会JAたまねぎ部会合同視察研修（～9/7）
10	日	鹿島市民文化ホール会館記念式典 少年の主張佐賀県大会
11	月	9月定例会開会
12	火	一般質問（3名）
13	水	一般質問（3名）
14	木	一般質問（3名）、議員説明会 婚活サポーター情報交換会
19	火	議案審議
20	水	議案審議
21	木	議案審議
22	金	議案審議
25	月	議案審議
26	火	有明中学校学校訪問
29	金	県民スポーツ大会白石町結団式

治水対策の今！！！！

近年の降水量の増加やゲリラ豪雨などに伴う浸水対策は本町の喫緊の課題です。町内においても浸水被害が発生しやすい地域とそうでない地域があるため、町全体で浸水被害が発生しないようなスムーズな排水調整体系の確立が必要です。

防災対策は、「町民の防災意識啓発」「避難所の備え」「情報伝達手段の多重化」「自主防災組織の組織率向上」「流域治水対策」など町も対策を講じてきましたが、気象状況の変化により、これまでの対策をさらに強化していく必要があります。

令和元年と令和3年の豪雨被害から、議会も一般質問や議案審議などを通して執行部へ対策強化を訴えてきました。近年の治水対策の動きを振り返ります。

○最近の一般質問（治水対策関連）

令和元年	5件
令和2年	2件
令和3年	15件
令和4年	3件

具体的には、排水ポンプの設置やクリークの浚渫、ゲートの維持管理、事前排水に避難所対応などについて質してきました。

これらの議会の動きにより、排水ポンプの増設や事前排水の地域間における連携も徐々にスムーズになってきました。内水対策プロジェクトチームが組織化されることにつながりました。

○内水を「貯める」

・水路の事前排水の徹底（貯水ポケット確保）

■支川の流出抑制・氾濫抑制の取組

【クリークを活用した雨水貯留容量の確保】

【大雨に備えた事前の対策】

- 行政放送により町内全域に事前排水の呼びかけ、町内巡回により個別に事前排水を要請
- これまでの事前排水の水位を更に低下することで更なる貯水ポケットの確保を図る

治水効果

浸水被害を軽減するため、大雨時の一時貯留断面を確保

＜排水調整会議の開催＞

- 近年の天候（大雨）の傾向と対策
- 事前排水の重要性の説明
- 調整員、上下流域間の連携強化など

用排水路
(最大時)

用排水路
(これまでの事前排水高)

用排水路
(事前排水の強化)

効果

- 町内の各地域に呼びかけ、事前排水の徹底を図ることで浸水被害の防止、軽減が期待できる
- 町民の防災意識の向上を図ることができる

・ 幹線水路の改修（写真は地沈水路：遠江下付近）



着工前



完成

○内水を「流す」

・ ゲートの適切な維持管理

定期的な点検をし、防錆、塗装など適切な補修を行っている。（写真は、地沈水路：新明付近）



着工前



完成

・ 排水ポンプの設置（馬田樋管排水ポンプ）





要望書を受け取りました

●白石町新明区の水害対策に関する要望

提出者 新明区区长 上野清治 他集落代表7名

●深浦区御番所排水ポンプ所に関する要望

提出者 深浦区区长 小池勝次 他8名

●し尿汲み取り手数料改定に関する要望

提出者 株式会社三協環境開発
代表取締役 釜崎博昭 他2業者

●高齢による離農者の農地を耕作する農業者への支援について

提出者 白石町広域農事組合法人協議会(7法人)

編集後記

かのんちゃん、しる君、巢立ち、おめでとう！

約4か月間？母鳥、父鳥に守られ、巢立ちの練習もうまくいったのでしよう、7月中旬に巣立ちました。

でも、これからが大変ですよ。

カラスたちに餌をとられないように注意して。

サギが、おいしい話をしたら、要注意！！要注意！！

また、かのんちゃんは素敵な彼氏と、しる君は可愛い彼女との出会いがあるでしょうから、ぜひ白石町と一緒に帰ってきたらなあ。

コウノトリは子育てにやさしい町の象徴です。

白石町も今後ますます子育てにやさしい町になることと、安心安全な食糧基地であり続けることを議員一同願っています。

(岸川)



議会戦隊 炊飯ジャー

作: Sachieemon

第38話 「SDGs」



※SDGsとは

2015年9月、国連総会で採択された、持続可能な開発のための17の国際目標。2030年を達成期限と定め、国連加盟国すべてが取り組むことでより良い地球を目指していく指針として採択されました。



白石町議会だより/第74号

発行/白石町議会 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1
TEL 0952-84-7126 FAX 0952-84-6611

編集/議会広報特別委員会

責任者/白石町議会議長片淵栄二郎

広報委員 委員長 定松弘介

副委員長 友田香将雄

委員 中村秀子 重富邦夫 岸川信義 吉岡正博